

第1号議案 2023年度活動報告

【対話と交流のフォーラム】

1. 若者協同実践全国フォーラムin岐阜

2011年3月に実施した第6回大会に続き、2度目の岐阜での開催となった。2018－2019年に実施した「岐阜県版実践交流会」を主導的に動かしてくれていた方が、身内の不幸で動けなくなってしまったというハプニングもあったが、どうにか相応の規模で実施することができた。

また今大会は、孤独・孤立対策官民連携事業の一端として、岐阜県からの助成金を用いることができたため、参加費をかなり低廉価格で実施することができたことは、参加のハードルを下げることに大きく寄与したものと思われる。

今大会では、全分科会でオンライン併用のハイブリッド形式にしたため、事前準備や当日運営でバタバタしてしまうこともあったが、懇親会には当初人数を超えた80人弱の参加があり、あらためて対面での交流を求める人びとが多いことがうかがえた。

日 時:2024年1月6－7日

場 所:岐阜市＋オンライン

参加者:290人

テーマ:場がひらかれていくきっかけづくり

【調査研究のセンター事業】

2. サマーフォーラム(研究大会)

「若者協同実践」をどのように広めていけばいいのか、過去の取り組みを踏まえつつ、これからの活動へと活かしていくことを目的にしたフォーラムを開催した。会場を1カ所ではなく、東京・京都・福島・岐阜の4開場で設置し、それらをオンラインでつなぐ形態で実施した。「サマーフォーラム」と言いつつも、準備作業が遅れてしまったため、秋になってしまったものの、企画の連続性を保つために、「サマーフォーラム」という名称は継続した。

内容としては、「教育運動をベースにした若者協同実践」を佐藤洋作から、「障害福祉運動をベースにした若者協同実践」を山本耕平から話した上で、南出吉祥より、JYCのこれまでやってきた活動を「実践運動」という観点からまとめた報告をおこなった。

各種報告を受け、生田周二・丸山康彦・朝日華子の3名よりコメントをいただき、その後各地の会場ごとに意見交換を交わし、オンラインで共有し議論をした。

日 時:2023年10月21日(土)

場 所:東京・京都・福島・岐阜＋オンライン

参加者数:約60名

テーマ:運動としての若者協同実践

登壇者:佐藤洋作・山本耕平・南出吉祥

指定討論:生田周二・丸山康彦・朝日華子

3. オンライン講座

10月に実施したサマーフォーラムのスピノフとして、佐藤洋作・山本耕平・古村伸宏の3名から、「教育運動／障害者運動／労働者協同運動」のこれまでとこれからを語ってもらい、参加者からの質問を通して応答・議論を深めていった。

日時:2024年2月17日(土)、4月7日(日)、5月11日(土)

場所:オンライン

内容:教育運動・障害者運動・労働者協同運動

【情報のプラットフォーム事業】

4. 若者情報サイト「とゆ～す」

2022年度に作成した若者情報サイト「とゆ～す」の情報やリンクを確認し、内容を更新した。とりわけ、子ども・若者総合相談センターの情報がリンク切れになっていることも多く、自治体内でも不安定な事業だということが窺える。また、周知広報のために、QRコードを記したカードを作成し、岐阜集会の場で配布した。今後は、当サイトの周知をさらに進めていくことが課題となる。

5. こども家庭庁への意見書提出

2023年4月に発足した「こども家庭庁」に対し、「若者」の位置づけが弱いという懸念の声が上がっており、岐

阜大会分散会で検討したことを踏まえ、こども家庭庁宛に提言書を作成し、提出した。居場所部会の担当者とは、懇談会の場をオンラインにて設定し、直接話を届ける機会を設けた。虐待部会との懇談は、現在日程調整をしている最中である。

「若者の居場所に関する提言書」(2024年2月20日)
こども家庭庁居場所部会担当者との懇談(2024年2月27日)
「若者政策に関する提言書」(2024年6月12日)

【その他法人の目的に付随する事業】

6. 草の根助成

2021年度から実施している、日本NPOセンターからの寄付運用事業として、草の根レベルで活動している子ども・若者支援団体の活動を応援していく助成を今年度も実施していく予定であったが、寄付者と日本NPOセンターとのやり取りが遅れたため、2023年度は実施に至らなかった。2024年度は既に日本NPOセンターとの契約は済んでおり、実施に向けて準備を進めている最中である。

7. 事務局合宿

JYCがスタートしてから5年が経過し、これまでの活動を振り返りつつ、今後の展望を見据えていく必要があるだろうということで、1泊2日にわたる事務局会議合宿を実施した。JYC発足時に立てた課題・目標の達成度を確認しつつ、あらためて活動の柱立てを検討し、これからの5年間の中長期的な事業計画を練った。

8. その他会議等

事務局員全員が集まる日時が定められなかったので、会議を月2回に設定し、連絡を密にすることで業務進捗を進めていった。

4月4日 事務局会議	8月7日 HP会議	12月11日 HP会議
4月7日 草の根助成会議	8月18日 事務局会議	12月17日 理事会
4月21日 事務局会議	9月1日 事務局会議	12月20日 事務局会議
4月23日 理事会	9月5日 HP会議	1月6－7日 実践交流会
5月1日 事務局会議	9月16日 佐藤洋作聴き取り	1月12日 事務局会議
5月19日 事務局会議	9月23・24日 事務局合宿	1月20日 HP会議
5月21日 フォーラム会議	9月27日 事務局合宿	1月26日 事務局会議
5月26日 学習会	10月2日 HP会議	1月31日 事務局会議
6月7日 事務局会議	10月5日 シンポ打ち合わせ	2月7日 提言内容検討
6月23日 事務局会議	10月11日 代表者会議	2月8日 事務局会議
6月26日 学習会	10月12日 事務局会議	2月17日 オンライン講座
7月3日 草の根助成会議	10月21日 サマーフォーラム	2月18日 理事会
7月5日 事務局会議	10月27日 事務局会議	2月21日 事務局会議
7月10日 代表者会議	11月9日 事務局会議	2月22日 HP会議
7月18日 事務局会議	11月13日 HP会議	2月27日 こども家庭庁懇談
7月20日 事務局会議	11月20日 代表者会議	3月21日 HP会議
7月23日 総会	11月22日 事務局会議	3月21日 事務局会議
7月31日 事務局会議	12月6日 基調報告会議	
8月4日 オンライン学習会	12月7日 事務局会議	